

1 キャラ設定

2

3 ■香坂一樹（こうさかいつき）

4 二十五歳。ヒロインの会社の元部下。

5 高身長に甘いマスク、人懐っこさはあるけどちょっと軽い。

6 なんでも器用にこなすタイプで仕事もできたが、

7 ハラスメントな言動が問題になり退職。息を吸うように女性を褒めたり、ボディ

8 タッチをしてしまう。

9 転職後は、特技をいかして女風のセラピストに。

10 偶然来店したヒロインを担当することになり、

11 甘い言葉と巧みなテクニックで沼らせていく。

12 言い方はソフトだけど、Sっ気たっぷり。

13 家庭環境が悪く父親が常時モラハラ発言をしていたが、

14 そんな父を母が愛し続けていたために愛情表現の方向が歪んだ。

15 【※可愛い感じと強引な感じと両方演じていただけると最高です】

16

17 ■ヒロイン

18 真面目で仕事熱心。優等生タイプで面倒見がよく頼まれたら断れない。

19 恋愛には奥手で男性経験はあまりない。グイグイ来られるのはわりと好き。

20

21 ◆トラック1 再会

22 仕事帰りに、前から気になっていた女性専用風俗を利用してみることにしたヒロイン。
23 待ち合わせのホテルに現れたのは、なんと半年前に会社を辞めた後輩だった。

24

25 時間 夕方

26 場所 ラブホテルの一室

27 SE：電話の呼び出し音

28

29 【立ち位置3 電話口】

30 香坂「あ、もしもし？」

31 エクスタシークラブのセラピスト、イツキです。

32 あ、これ、ご予約のお客様の番号で間違いありませんよね？

33 よかった。今、ご指定のホテルに到着しました。

34 はい、部屋の前にいるので、

35 ドアをガチャっとしていただければ」

36 SE：ヒロインの足音

37 SE：ドア開閉音

38

39 【ヒロインが電話かけっぱなしでドアを開けると、目の前に香坂がいる】

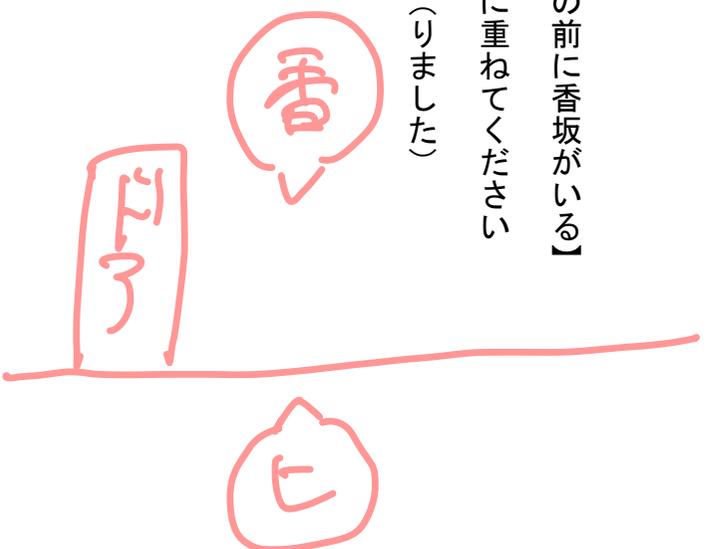
40 【立ち位置9】※このセリフ、電話口に加工作して3番に重ねてください

41 香坂「お待たせしました。エクスタシークラブから参（りました）

42 ……って、えっ？ 先輩?！」

43 SE：電話切る

44



45 【立ち位置9】

46 香坂「先輩が、写真見て俺指名してくれたんですか？ すごい嬉しい！」

47 【ヒロイン「チェンジ」】

48

49 【立ち位置9】

50 香坂「は！？ チェンジって……あ、ちよちよちよ、

51 待って待ってドア閉めないで！

52 指名したくせにそれはナシでしょ！？」

53

54 【ヒロイン「指名してない」】

55

56 香坂「指名してない？ そんなはず……」

57 あく……スタッツに“ナンバーワンが今ちょうど空いています”

58 とか言われて、じゃあその人でお願いって言ったパターン？

59 先輩前からそういうところありますよね。

60 流されやすいっていうか、自分の意思が弱いつて言うか」

61

62 香坂「てか、ホテルの廊下に長々立ってたくないんで、

63 とりま中入っていいですか？ 店に説明の電話も入れないと」

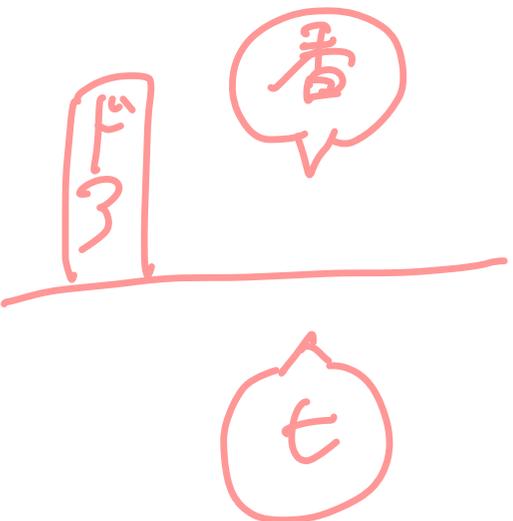
64 香坂「何の説明もなく追い返されたら、

65 俺がお客さんを怒らせたって思われちゃう。

66 【弱気に】せっかく見つけた再就職先なのに、

67 クビになっちゃうかも。

68 可愛い元後輩を助けるつもりで！ 【拝みながら】お願いします！」



69 【ヒロイン渋々頷く】

70 【立ち位置9→3を通過してヒロインの横をすり抜ける】

71 香坂「やった！ さすが先輩！ それじゃ、失礼しまーす」

72 SE：足音

73 SE：扉閉まる

74

75 【立ち位置9 ヒロインに背を向けて】

76 香坂「へー、いい部屋じゃないですか！

77 先輩、女風のセラピストにもちょっといい顔しちゃうタイプ？」

78

79 【ヒロインを見て】

80 香坂「あ、ソファ座っていいですか？ 先輩もほら、隣きて」

81 SE：香坂ソファ座る

82 SE：ヒロインの足音足音

83 SE：ヒロインソファ座る

84

85 【立ち位置2 ※隣り合って座る距離（正面を見たまま）】

86 香坂「いやービックリした。マジで久しぶりですね。

87 俺が会社クビになってからだから……半年ぶりかな」

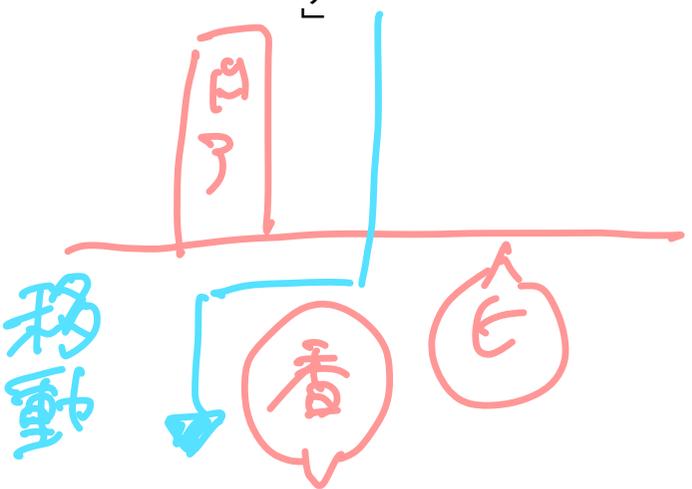
88

89 【立ち位置2 ヒロインを見て】

90 香坂「先輩、元気してました？ 俺のこと、ちょっとは心配してくれてたり？」

91

92 【ヒロイン頷く】



93 香坂「あはは、さすが、俺の元教育係だ。
94 他の奴なんて、俺がやめるときも、やめた後も
95 めちやくちや冷たかったのに……
96 セクハラ野郎、死ねって。さすがにひどくね？」
97

98 【ヒロイン「ひどいセクハラだったしね」】
99

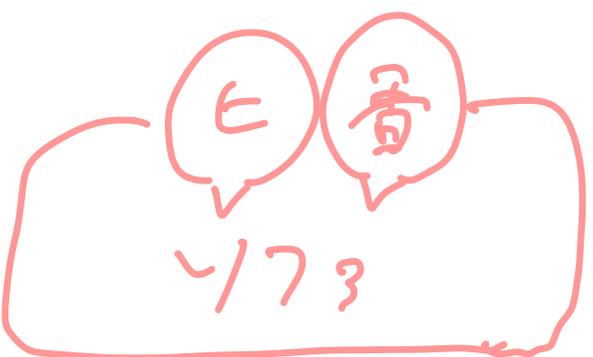
100 香坂【「すねるように」先輩までそんなこと言って……！
101 セクハラじゃなくて、ただのコミュニケーション！
102 かわいい子に可愛いって言って、何が悪いんですか？
103 おっぱい大きいのだって、腰が細いのだって、せっかく「いいね！」って
104 褒めてあげてたのに」
105 【立ち位置2】

106 香坂「つーか、俺のクビの原因、
107 ぶっちゃけあの取引先のお堅そうな女が原因でしょ？
108 干からびてそうだから、お相手しますよ」って言ってやったのに、
109 急に怒りだして……」
110

111 【ヒロイン「反省はしてないみたいだね……」】
112

113 【立ち位置2】

114 香坂「反省？ 俺が？ いや意味わかんないですし。する必要ないですよ。
115 実際今のお客さんたちは、俺が褒めるとみんな喜んでくれてるし」
116



117 香坂「まあでも、クビになったおかげでこうして天職に出会えて、
118 あこがれてた先輩とエッチなこともできるんだから、
119 クビになったことは感謝すべきなのかな？」
120

121 【ヒロイン「エッチなこととはしないよ」】
122

123 香坂「え……？ しないの？ エッチなこと。
124 いや、でも部屋に入れてくれたじゃん」
125

126 【ヒロイン「店に電話するって言うから」】
127

128 香坂「（軽く笑って）ああ、いってそっぴい言いつい訳。
129

130 ここでは別に純情な女のふりとか、そういうのしないで大丈夫だから」
131

131 【立ち位置3 ※急に耳元で】
132

132 香坂「エッチなことされたくて、店に予約したんでしょ？」
133

133 店にどんな予約入れたか、ちゃんと知ってますよ、俺。
134

134 ちょっと嫌がっても、無理やり気持ちよくしてほしいって……
135

135 Sつけのあるセラピストがいいって、そう言ったんでしょ？」
136

137 【ヒロイン、慌てて体を引こうとするが、逆に抱き寄せられる】
138

SE：衣擦れ
139

140

ヒロイン ← 香
-173

←
次ページ

141

142 【立ち位置3】

143 香坂「おっとだめだめ。逃がしませんよ。」

144 せっかくまた会えたのに、逃がすはずないでしょ。

145 んー？ 耳元でしゃべられるの、くすぐりたい？

146 ふふ……あのね、くすぐりたいってことは、

147 気持ちよくなるってことなんですよ」

148

149 香坂「ねえ、先輩。」

150 俺ってマジで、いつも予約埋まってるんですよ。

151 今日はたまたま予約が空いてただけ。

152 もったいなくない？ 何もしないで帰るなんて。

153 試してみたくないですか？ どんだけ気持ちよくなるのか」

154

155 【ヒロイン、後輩相手にそんな気になれないと拒絶】

156

157 【立ち位置1】

158 香坂「んー？ なるほどなるほど。」

159 お堅い先輩は、会社の元後輩の前では、どんなに責められても

160 えっちな乱れ顔を見せたりしないってこと？」

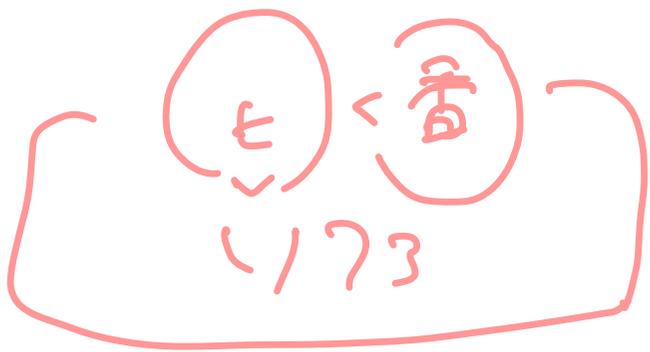
161 香坂「いいよ。じゃあ賭けましょうよ。」

162 先輩が耳舐めだけでイっちゃったら、先輩は今日、俺のおもちや。

163 我慢できたら、おしゃべりだけで帰る。拒否権はナシ。

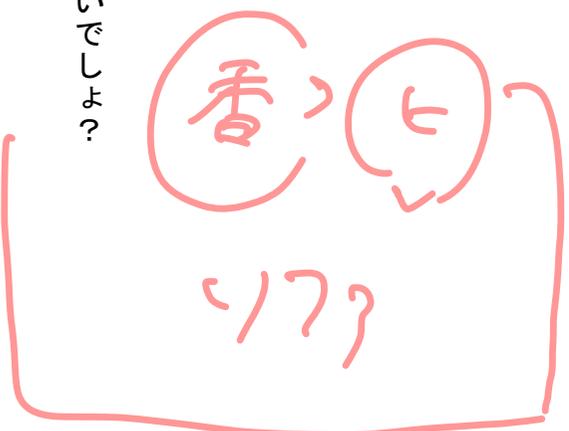
164 ほら、くよくよー」

だま子せ



だまめつ、
顔はヒロインの
正面に

165 【立ち位置7で1分程度耳舐めお願いします】
 166 【立ち位置7】
 167 香坂「耳舐めながら」あつは……我慢してる？
 168 真っ赤になって、かわいいなあ。ねえ、気持ちいいでしょ？
 169 耳だけでこんなに気持ちいいんだから、
 170 体触られたらどれくらい気持ちいいと思う？
 171 想像して。俺に触られるところ想像しながら……
 172 ほら、耳だけでイっちゃえ。まだ頑張れる？ じゃあ今度は逆側、ね？」
 173 【立ち位置3で1分程度耳舐めお願いします】
 174
 175 【ヒロイン、耳だけで軽くイク】
 176 SE：激しめの衣擦れ
 177
 178 【立ち位置3】
 179 香坂「はい！俺の勝ち〜！
 180 ドSセラピストの言いなりおもちゃコースいただきましたあ〜！
 181 ん〜……このまま続けてもいいけど、一応、店の手順があるからな……」
 182 【立ち位置1】
 183 香坂「それじゃ俺、お風呂沸かしてきますから、
 184 ちょっと待っててくださいね。
 185 がまんできなくて、一人で気持ちよくなっちゃダメですからね。
 186 ちゃんとして、そこで「ステイ」しててくださいよ。せーんぱい」
 187 SE：ソファから立ち上がる
 188 SE：去る足音



189 ◆トラック2 泡風呂でイチャイチャ

190 風呂場でイチャイチャするふたり。

191 少しずつほぐされていき、香坂の言いなりになっていくヒロイン。

192

193 場所…浴室

194 SE: お風呂かき混ぜる

195 【香坂、風呂の準備を整えて、寝室のヒロインを呼ぶ】

196

197 【立ち位置11 ヒロインに向かって】

198 香坂「先ばーい、もうこっち来ていいですよ！」

199

200 SE: ヒロインの足音

201 【ヒロインが脱衣所に入ると、浴室に香坂がいる】

202

203 【立ち位置9】

204 香坂「お待たせしました。

205

当店特製、ぬるぬるローション泡ぶろです！

206

見てくださいよ！

207

このきめ細かな泡がマジでサイコーに気持ちよくて……！

208

って……あれ？ なんでまだ服着てるんですか？ 風呂入るのに」

209

210 【ヒロイン「恥ずかしい」】

211

212

香

ヒ

香

※ 11番から
おながいします。

浴室

脱衣所 (ヒ)

213 香坂「ふーん。恥ずかしいんだ。 かーわい。
214 これからもっと恥ずかしいことするのにねえ」

215
216 【立ち位置9→1 ※近づきながら】

217 香坂「大丈夫、先輩が恥ずかしくて脱げなくても、
218 俺が上手にぬぎぬぎさせてあげますからね。
219 まず、上着とブラウス脱がせますね」

220 SE：近づいてくる足音

221 SE：ボタン外す

222 SE：衣擦れ

223
224 【立ち位置1】

225 香坂「じゃ、脱がせながら軽く説明しますね。

226 プレイの前は体だけシャワー浴びるのが一般的です。

227 すっぴん見られるの恥ずかしいって人多いし。

228 でも今回は泡風呂だから、シャワーは省略でいいかなあ。

229 俺は風呂用意しながら浴びちゃったし。

230 ってかこのローション泡ぶろってオプションなんですけど、

231 キャンペーンで初回特典とかしてるんですけどっけ？」

232

233 【ヒロイン「覚えてない」】

234

235 香坂【笑って】あっはは！ 自分で予約しといて、覚えてないって。

236 何もできない新卒みたいですね。」

香
↓
セ

香
↑
セ

237 香坂「バリキャリの先輩が、どうしたらいいかわからなくて
238 右往左往してるの、すげーカワイイ。
239 ねえ。スカートとストッキング脱がしたいから、
240 ちょっと足上げてください。俺の肩に体重かけていいんで」

241
242 【香坂、しゃがんでヒロインの服を脱がす】

243 SE：衣擦れ

244
245 【立ち位置1 ※しゃがみながら】

246 香坂「ストッキングって破けやすいから、
247 脱がすのも気を遣うんですよねえ。破けちゃったら怒られるし。
248 まあ、破いてほしいって言われることもあるし、
249 俺も破くのは好きですけど」

250 香坂「先輩、どうしてほしい？ 破いてほしい？」
251

252 【ヒロイン「普通に脱がせて」】

253 香坂「ざーんねん！ はい、上手に脱げた。

254 あとはパンツだけですけど……
255 これも、俺が脱がしちゃっていいですか？」
256

257 【ヒロイン、うなずく】
258

259 香坂「あれえ？ なんか、下着ちょっと濡れてない？
260

耳舐められただけで濡れるなんて、よっぽど欲求不満だったんだ。」



261 【立ち位置1 ※しゃがみながら】

262 香坂「やーらし」

263

264 香坂「ほーら。脚閉じないで。脱がせにくいでしょ。

265 ちゃんと力抜いて、はい、足上げて。そう、上手上手」

266 SE：衣擦れ

267

268 【立ち上がって立ち位置1】

269 香坂「はい。これで全部脱げた。先輩も、ほら……俺のガウン脱がせて？」

270

271 【立ち位置7 ※耳元で】

272 香坂「できるでしょ？」

273 腰の紐ほどいて、はだけさせて。

274 それで、今から先輩のことをイキ狂わせる男の体、

275 じっくり目に焼き付けて」

276 SE：衣擦れ

277

278 【立ち位置1】

279 香坂「よくできました。あ、ちょっと待って。

280 髪濡れちゃうといけないから、クリップで留めておきますね。

281 よし、OK」

282 香坂「じゃあ、お風呂行きましょっか。

283 このホテル、バスタブ広くてサイコーですよ！

284 足元、ぬるぬるするから気を付けて」

七 香

七 香

七 香

285 SE：足音

286 SE：足まで湯船に浸かる

287 ※ざばーっとお湯が溢れる感じではなく、やや控えめに

288 【香坂が先に入り、ヒロインの入浴をアシストする】

289 【立ち位置1 足まで湯船に入りながら】

290 香坂「よいしょっと……うん、湯加減もいい感じ。」

291 ほら先輩。裸で突っ立っていると風邪ひきますよ」

292 SE：足まで湯船に浸かる

293

294 【ヒロインに後ろを向かせ、抱きすくめながら肩までつかる】

295 【立ち位置1→5】

296 香坂「じゃあ、俺に背中向けて。体重預けて。はい、肩までざぶーん」

297 SE：肩までつかる

298

299 【立ち位置6 ※バックハグ】

300 香坂「あっはは。ぬるぬるしてて、変な感じ？」

301 でもこれ、クセになっちゃうくらい気持ちいいんで……

302 覚悟してくださいね？

303 じゃあ、まずはさっきから触ってほしそうなおっぱいから」

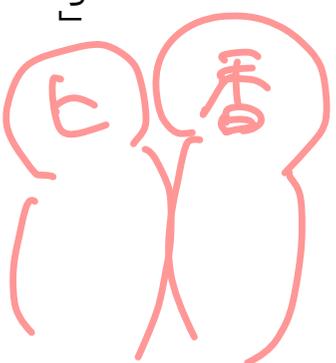
304 SE：お湯が跳ねる

305

306 香坂「あ〜……先輩のおっぱい、触り心地過去最高。

307 “先輩のおっぱい”ってところがまたポイント高いよなあ。

308 いつまでも揉んでいられそう」



309 【立ち位置7 ※耳元で】
310 香坂「しかも、乳首、もうこんなに硬くなって、すごい敏感。やーらしい。
311 もっと触ってほしい、いじめてほしいっておねだりしてますよ」

312 香坂【喋りながら耳舐め】「ううやって……ん、ちゅ……」

313 耳、舐めながら……れる……

314 乳首触ったら、どうなっちゃうのかな？

315 押しつぶしたり、ひねったり……

316 つまんだり、つねったり、ひっかいたり……

317 【耳舐め終了】

318

319 【立ち位置6】

320 香坂「あはは、身体すっごいびくびくしてる。

321 だめだめ、声我慢しないで。俺しか聞いてないんだから、

322 いっぱい可愛い声、聞かせてくださいよ」

323

324 香坂「ほら、ぬるぬる、くりくり、ぐにぐに、

325 くりくり、ぐにぐに、カリカリ……ぎゅーっ」

326 SE：お湯跳ねる

327

328 香坂「ふーん。強くつねられるのが好きなんですネ。

329 先輩って意外とMっ気あるのかな？

330 それじゃあ。もっといじめちゃおうかな」

331

332 香坂「やだじゃないでしょ？ ほら、乳首ぎゅーって」

香

香

SE：お湯跳ねる

333

334

335

【立ち位置7 ※耳元で】

336

香坂「あはっ、いい反応」

337

338

香坂「んー？ 何？ 何が嫌なの？」

339

340 “のセラピストにいいじてほしい”ってオーダーしたのは先輩ですよ。

341 まだまだ、もっともっといじてあげますから。ほら、こっち見て」

342

【立ち位置1】

343

香坂「べろちゅーしましよ。深くていやらしいやつ。

344

345 はむっ……ちゅ、くちゅ……っ。もっと舌、出して。

346

べーって……んー……ちゅっ……」

347

【ディープキス二十秒程度】

348

香坂「緊張、とけてきた？」

349

じゃあそろそろ、一番気持ちいいところ触ってあげる。

350

膝立てて、脚を大きく開いて……」

351

352

【クロイン、恐る恐る足を開く】

353

SE：お湯跳ねる

354

355

【立ち位置6】

356

香

香

357 香坂「うわ、ぬるぬる。これ、ローションのぬめりじゃないですよね？」
358 おっぱい触られてる間、期待してくれてたんだ？
359 嬉しいな……。いっぱい触ってあげますね」

360 【立ち位置6】

361 香坂「ほら、こうして……先輩のクリ、指でなでなでして可愛がってあげますね。
362 指の腹で、ゆっくり……なでなで、なでなで。
363 もどかしい？ もっと強くしてほしい？」
364

365 香坂「んー？ いやじゃないですよ。」

366 こんなに喜んで、もっともってって、腰ゆらしてるくせに。
367 イカせてほしいなら、ちゃんとおねだりしないと」
368

369 【立ち位置7 ※耳元で】

370 香坂「香坂くん、お願い、イカせてって」
371

372 【立ち位置6】

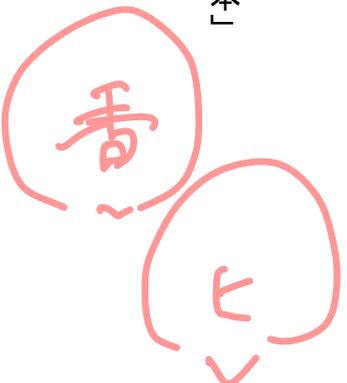
373 香坂「言わないと、ずーっとこのままですよ。
374 イクにイケないゆるーい刺激で、時間いっぱい焦らされたい？」
375

376 【ロイン、言う】

377 【立ち位置6】

378 香坂「ふふ……よく言えました。
379 じゃあお望み通り、中の方も可愛がってあげる。まず一本」
380

SE…指挿入



381 香坂「んー、狭いなあ。でも、もっと頑張れますよね？」
382 もう一本入れますよ。力抜いて……」
383

384 SE…指挿入

385 香坂「お風呂のローションより熱くて、どろっどろ。
386 あはっ、もう奥まで届いた。中、すっごいうねってる。
387 俺の指、そんなに美味しい？ いいですよ、もっとしゃぶって、味わって」

388 SE…出し入れする水音

389
390 香坂「俺にいじめられて、とろんってなって……
391 あーあ、みんなに優しい憧れの先輩がこんな変態だったなんてなあ」
392

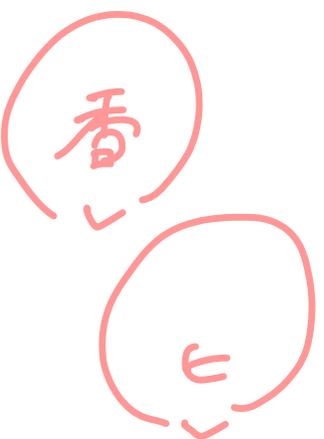
393 【ロイン謝る】

394
395 【立ち位置6】
396 香坂「謝らなくていいんですよ。
397 先輩の気持ちよくなってる」と、もっといっぱい見せてください。
398 先輩が大好きなおっぱいも、一緒にいじめてあげるから」
399

400 香坂「どろどろになった先輩の中、こっやってかき混ぜながら、
 乳首もぎゅっぎゅって。ね？ 気持ちいでしょ？
401 イっちゃえ、イっちゃえ。ほら、ほら、ほらっ」

402 SE…お湯大きく跳ねる

403
404



405 【立ち位置6】

406 香坂「あは、すっごいイキ声。そんなに気持ちよかった？

407 407 でも……、まだまだ物足りないって顔に書いてありますね」

408

409 【立ち位置7 ※耳元で】

410 香坂「じゃあ、こんどは足、ぎゅとじて、俺のはさんで。

411 411 そのままこうやって腰ゆらすと……ね？

412 412 クリがこすれて気持ちいいでしょう？

413 413 指じゃなくて、今度は俺のちんぽで先輩のクリ、よしよとしてあげる」

414 【香坂、バックハグ状態でローション素股】

415 SE…断続的に水が跳ねる音

416

417 417 香坂「うんうん。いったばかりだから、すぐイっちゃいますね。

418 418 ちょっと我慢できないザコまんこかわいい、かわいい。」

419 419 香坂「あくこれヤバ……俺もスゲー気持ちいい。

420 420 仕事じゃなかったらすぐにぶち込んでるのになあ。

421 421 一回このまま出しますね。ほら、もっと足ぎゅって締めて」

422 【吐息1〜2分程度 やりやすいタイピングで終わらせてください】

423 SE…お湯大きく跳ねる

424

425 425 香坂【大きく深呼吸】じょーずに同時にイきましたね。

426 426 俺たちって、体の相性最高では？ つかあっつ。のぼせぞ。

427 427 じゃ、続きはベッドでしましょうか。

428 428 大丈夫、俺はまだまだ、何度でもできるんで」



429 SE: 湯船から出る

430 SE: シャワーひねる

431 SE: シャワーの水音

432

433 【香坂、シャワーで軽くローションを流す】

434

435 【立ち位置1 ※横を見ながら】

436 香坂「軽くローション流しますね。ほら、先輩も」

437

438 【香坂、いつまでも湯船から出てこないヒロインをいぶかる】

439 【立ち位置1 ※ヒロインを見て】

440 香坂「先輩？ なにやってるんですか？ 時間もったいないし、

441 早くローション流してベッド行きましょよ」

442

443 【ヒロイン「立てなくて」】

444

445 香坂「は？ 立てないって……は、はは！ あははははは！

446 イキすぎて立てないって、さすがにザコすぎ！

447 あつと、すいませんって。そんなに拗ねないで。大丈夫大丈夫。

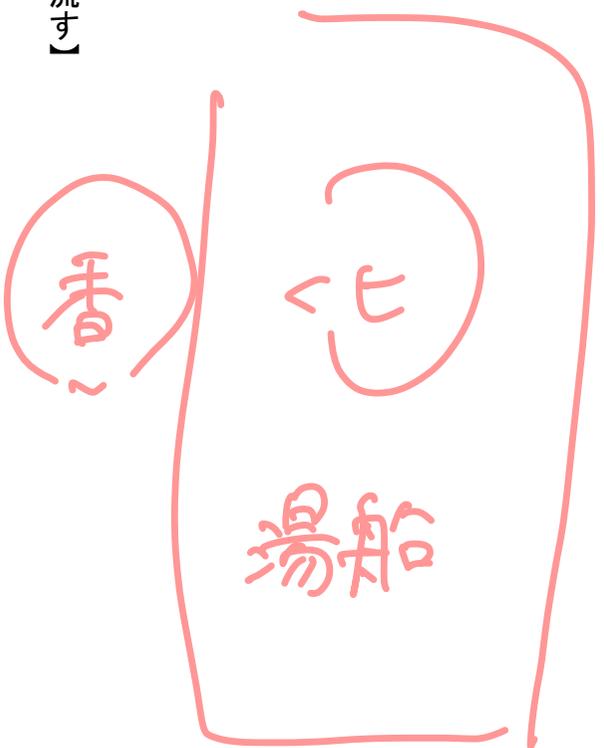
448 お姫様抱っこで、俺がベッドまでお連れしますから。

449 【ヒロインを湯船から抱き上げる】よいっしょっと」

450 SE: ヒロインを湯船から引きあげる音

451

452 【香坂、ヒロインをお姫様抱っこ】



- 453 香坂「少し馬鹿にしたように】えっちなことに素人で、
- 454 なんにもできない新人先輩。かわいい、かわいい、かわいいですね。
- 455 おーゆちゆち。さ、ベッドに行きましょつか」
- 456

457 ◆トラック3 調教のはじまり

458 ベッドの上で大胆に体を開いていくヒロイン。香坂の要求はエスカレートしていき、
459 次々に恥ずかしいことをさせられる。「そんなに俺のがほしいならおねだりして」と
460 無理やり言わされたのに、動画を撮られて脅される。

461

462 時間 夜

463 場所 ラブホのベッド

464

465 SE…水音

466

467 【キスしながら愛撫。キスしながらセリフを挟んでください】

468

469 【立ち位置1】

470 香坂「先輩。俺の膝の上に来て。ちゅっ。ちゅぱっ…。さっき教えたでしょ。

471 もっと舌出して。こーら、逃げない。

472 はむっ。【激しく吸う】はあ、美味し……。ね、俺のも吸って」

473 【二十秒ほどディープキス】

474 SE…秘所に触れる

475

476 【立ち位置1】

477 香坂「ふふ、先輩って濡れやすいんですね。

478 なっきの思い出して、興奮しちゃった？」

479

480



481 【立ち位置3 ※耳元で】

482 香坂「耳まで真っ赤にして可愛い♡

483 たくさん気持ちよくしてあげますからね。ほら、足開いて？

484 さっきの続き、してあげる」

485 【ヒロイン 足開く】

486 【指挿入】

487 SE：水音

488

489 【立ち位置1】

490 香坂「先輩の中、俺の指にすっごいからみついているのわかる？

491 いやらしい音。乳首もいっぱい舐めてあげる」

492 【舐め音二十秒程度お願いします】

493

494 【立ち位置1 ※下から見上げる】

495 香坂「片方だけじゃかわいそうだから、こっちも舐めてあげないとね。

496 はむ、ちゅ……っ。

497 【舐めながら】ああ……先輩の乳首、コリコリってしておいしい。

498 ん、ちゅ……ちゅっ。すっごい声出しちゃって。かゝわいい♡

499 もっとほしい？ ん、じゃあ……」

500 【舐め音 ※秒数お任せします】

501 香坂「そろそろ、指じや物足りなくなってきたんじゃないですか？

502 ちがうの？ じゃ、これはなんですか？

503 先輩の大事なところ、もうどろどろで、俺の指ふやけちゃいそう。

504 っっやっつかき混ぜたら……」

香
七

香
七

七
香

七
香

505 SE…水音

506 【立ち位置1】

507 香坂「【舐めで】ほくら。いっぱい溢れてきちゃった。ね、どうしてほしいの？」

508 ほら、言っ。おマンコなめてくださいって。

509 言わないだったら、もっと指でいじめちゃいますよ」

510 SE…水音

511 香坂「ん？ どうしたの？ 言わないの？」

512

513 【クロイン、言っ】

514

515 香坂「あはは。いい子ですね。良い子にはお望み通り、ご褒美あげちゃいます」

516 【クン二十秒くらいお願いします】

517

518 【立ち位置1 ※下から】

519 香坂「【舐めながら】ん、ちゅ……っ。

520 体のけぞらせちゃって、そんなに気持ちいいの？ あはは、そっか。

521 素直な先輩、可愛い。もっともっと可愛いとっ、俺に見せて」

522 【クン二十秒くらいお願いします】

523

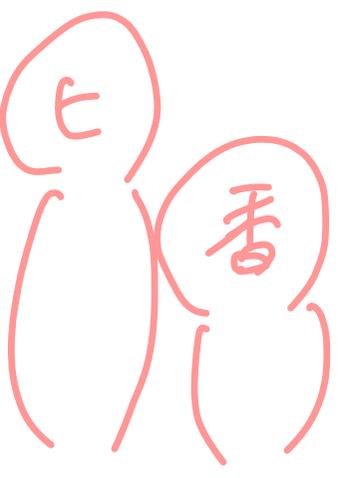
524 【クロイン 「ダメ、出ちゃう」】

525

526 香坂「【舐めながら】いいですよ、我慢しないで出して。

527 先輩が潮吹くとっ、見たいなっ♡ よし、俺が手伝ってあげる。

528 っっやっってっ、舐めながら指入れるとっ」



529 SE…指挿入音

530 【立ち位置1】

531 香坂「ね、もっと気持ちいいでしょ？ ほおら。いけ、いけ、いっちゃえっ♡」

532 SE…水音

533 SE…潮吹く

534

535 香坂「すっご、大量」

536 SE…体勢変える大きめの衣擦れ

537

538 【立ち位置1 ※ヒロインの顔覗き込みながら】

539 香坂「先輩、意識あります〜？ あっは。すっごいトロ顔。かーわいい」

540

541 【立ち位置1 ※上から】

542 香坂「ね、見て。俺のチンコ。先輩のせいで、こんなになったんですよ。

543 責任とって慰めてください。”じじ、で”

544 SE…水音

545

546 【ヒロイン「本番禁止って」】

547 【立ち位置1】

548 香坂「そう。本当は、本番禁止されてるんだけど……。

549 【耳元で】先輩は特別だから。……ね、いいでしょ？

550 可愛い元後輩からのお願い♡」

551

552 【ヒロイン頷く】



553 【立ち位置1】

554 香坂「ふふ、先輩ってなんだかんだ俺に甘いですよね。

555 嬉しいな。俺も先輩のこと、いっぱい甘やかしちゃう。

556 こうやって、先っぽで入り口をすりすり、くちゆくちゆ、

557 すりすり、くちゆくちゆってして……」

558 SE…水音

559

560 香坂「ああ……、すっごいぬるぬるで気持ちいい。すぐ入っちゃいそう。

561 先輩も気持ちいいんでしょう？

562 腰、こんなに揺らして、”入れてくれないの？”って顔してる」

563 香坂「そうだよな。寸止めは辛いよね。ずっとこのままは辛いよね。

564 うんうん、わかるよ。

565 それじゃ、我慢しないでちゃんとおねだりしないとね」

566 香坂「ね、言ってる？ 先輩の口から聞きたいな。

567 香坂君のチンポを、私のおマンコにぶちこんでくれなきゃダメって」

568 香坂「ほら、早く言ってる。言えよっ【最後強めに】」

569

570 【ゴロイン いろいろなり】

571

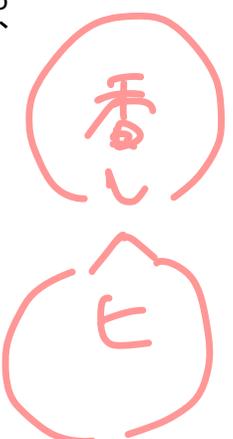
572

573

574

575

576



577 SE：動画撮影時のピツという音

578 【立ち位置1 ※上からスマホを構えて】

579 香坂「ふっはは。最っ高。今のばっちり録画しましたよ。

580 【スマホ見せながら】

581 ほら、恥ずかしい格好させられて、必死にお願いしてる。

582 【失笑】先輩ヤバすぎ」

583

584 【ヒロイン スマホに手を伸ばす】

585 SE：衣擦れ

586

587 【立ち位置1】

588 香坂「だーめ。渡さない。

589 あーあ。セラピストへの本番強要がバレたら罰金ですよ。

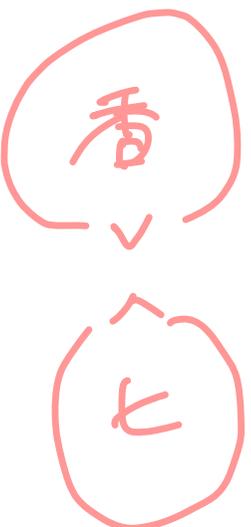
590 どうします？ この動画、消してほしいですか？

591 そうだなあ。そこまで言うなら、俺の奴隷になってよ。

592 まだ、調教が完全に終わってないし、とりあえず明日……ね。

593 【明るく】じゃ、またのご予約お待ちしてまーす」

594



595 ◆トラック4 動画消去のお願いにきただけなのに……

596 例の動画を消してもらったため、再びセラピーを予約したヒロイン。

597 弱みを握られたせいで、香坂からのDS調教を受けることに。勝ち誇ったような彼の態
598 度は悔しいけれど、触られたら最後、彼の言いなりになってしまう。
599

600 時間 夕方

601 場所 ラブホテルの一室

602 SE：扉の開く音

603

604 【立ち位置⑨】

605 香坂「【明るく】」「指名ありがとうございます。セラピストのイツキです」

606

607 【ヒロイン 無言で部屋へ促す】

608 SE：靴音

609 SE：部屋扉の閉音

610

611 【立ち位置①】

612 香坂「ちゃんと俺の言うこと聞いてくれたんだ？ えらいえらい。」

613 って……ん？ どしたの先輩。元気ないじゃん。

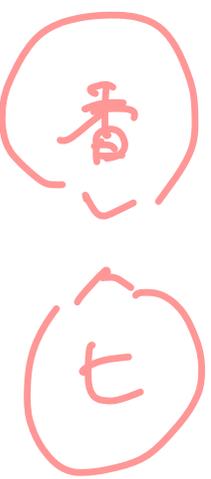
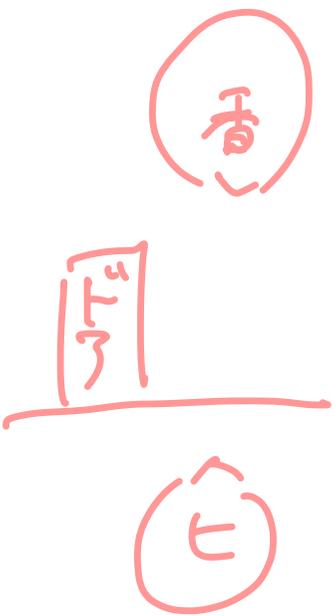
614 あはは、なーんて。そりゃそうだよね。

615 あんな動画誰かに見られたら、先輩破滅するしかないもんね」

616 SE：靴音

617

618



619 【ベッド前まで移動】

620 香坂「動画、消してほしいんですよね。

621 だったら、どうすればいいかわかってます？」

622

623 【ロイン「お願い。動画消してください」】

624

625 香坂「何？ ちょっとやめてくださいよ。俺、そういうの苦手なんです。

626 とりあえず頭下げて許してもらおうみたいな。

627 俺が悪いことしてるみたいじゃないですか」

628

629 【立ち位置1】

630 香坂「言ったでしょ？」

631 そんなにあの動画消してほしいんなら、俺の奴隷になれって」

632

633 香坂「……はは、不安そうな顔もたまんないな。

634 大丈夫、心配しなくても痛いことはしないから。

635 ただちょっと、俺のこと気持ちよくさせてくれるだけでいいんですよ」

636 SE…ベルトを取るかちやかちや音

637 SE…ファスナー下げ音

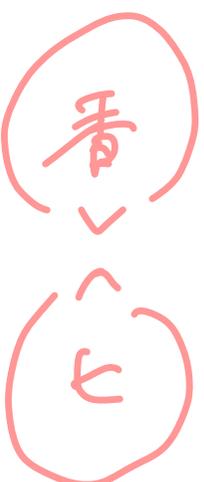
638

639 【立ち位置1】

640 香坂「じゃ、さっそくしゃぶってもらおうかな。

641 まあ、嫌って言っても先輩に拒否権なんかないけどね。

642 【ちょっと乱暴に】ほら、突っ立ってないでひざまずけよ」



643 【ロイン ひざまずく】

644 SE：衣擦れ

645
646 【立ち位置1 ※上から】

647 香坂「いい子ですね。口開けて。【焦れて】早く開く。

648 従順でかわいい奴隷ちゃんにならないと、

649 俺、うっかり指が滑ってあの動画、拡散しちゃうかも……。

650 ほーら。ああ、んんっ」

651 SE：フェラ音

652

653 香坂「あ、ああ……。き、も、ちいい。齒、立てないで。

654 もっと、奥までくわえこめよ、ほらっ」

655 【激しくイラマ。喘ぎ声二十秒ほどお願いします】

656

657 香坂【喘ぎながら】はあ、はあ……。っ。今、どんな気持ちですか？

658 セクハラでクビになった元後輩にイラマガン突きされるのは。

659 先輩はドMだから、この状況に興奮してるんですよね」

660 【立ち位置1】

661 香坂【喘ぎながら】上手ですよ……。そう、舌も使って。

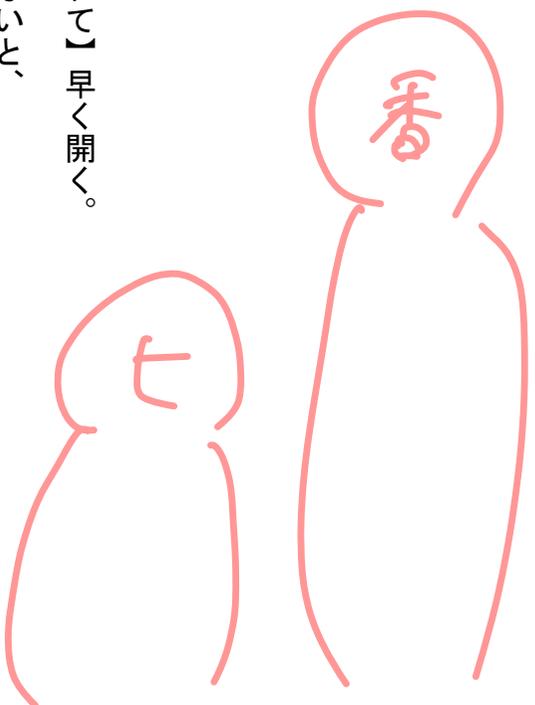
662 喉、きゅっとしめて。う、あ……。

663 ねえ、もっと味わって。丁寧にしやぶってよ。

664 はあ……。先輩の必死な顔たままないな。俺の、口にくわえたまま、

665 顔ゆがませて、腰くねらせて上目遣いで訴えてさ……」

666



667 香坂「はあ……やばっ……気持ちいい。

668 そんなに俺のザーメン飲みたい？ いいよ、たっぷり出してあげる」

669 【喘ぎ声二十秒ほどお任せします】

670

671 香坂「はあはあ……。い、いく……。あ、あ、あ……」

672

673 【フェラニこまで】

674 SE：射精音

675

676 香坂【息整えながら】あぁ……最高。いっぱい出ちゃった。

677 ほーら、吐き出さないで全部「っくん」して。ほら、「っくん」

678 香坂「ん、上手上手。そしたら、「っ寝美あげようね」

679 SE：足音

680

681 【立ち位置1】

682 香坂「っちおいで。ベッドで可愛がってあげる」

683

684 【ロインの腕を引いてベッドへ】

685

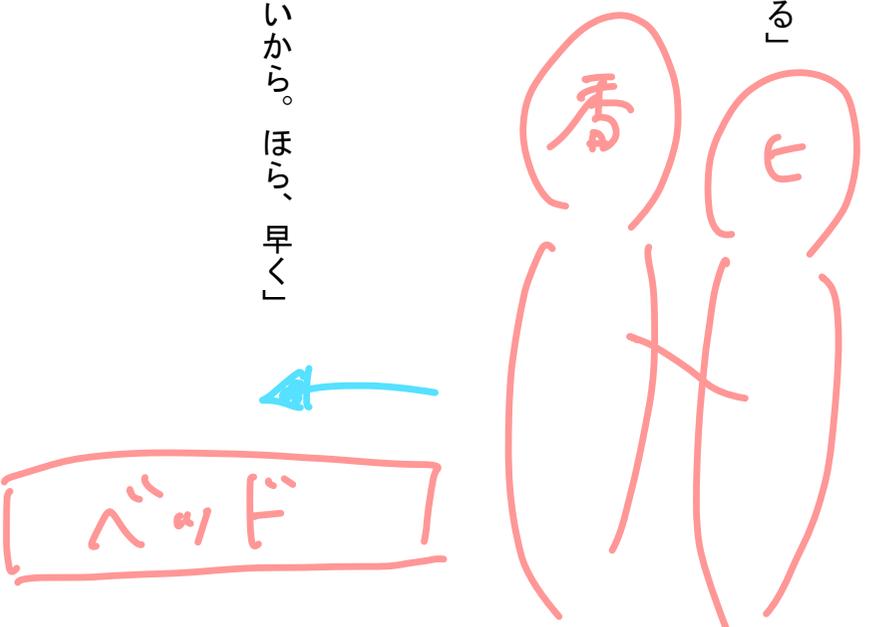
686 SE：ベッドのきしみ

687

688 【立ち位置1】

689 香坂「じゃ、服自分で脱いで。シャワーとかいいから。ほら、早く」

690



691 【ヒロイン従う】

692 SE…衣擦れ

693
694 【キス音十秒くらいお願いします】

695
696 香坂【キスしながら】先輩。ちゅっ。ちゅぱっ……」

697 SE…ベッドに二人で寝転ぶ音

698
699 【立ち位置1】

700 香坂「足開いて。【指挿入】

701 先輩、もうこんな濡れてる。まだ一本しか入れてないのに。

702 ほら、とろーって蜜が絡んで指に吸い付いてくる。

703 ああ、足りないよね。こんなんじゃ全然足りないよね。

704 じゃ、どうすればいいんですたっけ？」

705
706 【ヒロイン「おねがいします」】

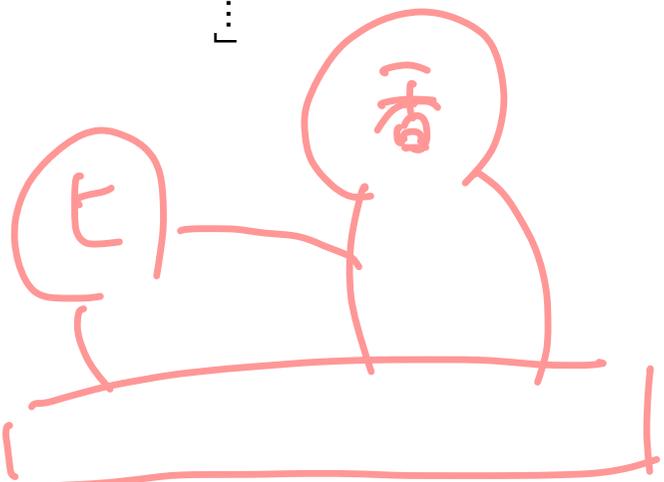
707
708 香坂「ん？ お願いって何が？

709 ちゃんとと言わなきゃわからないって言ったよね。

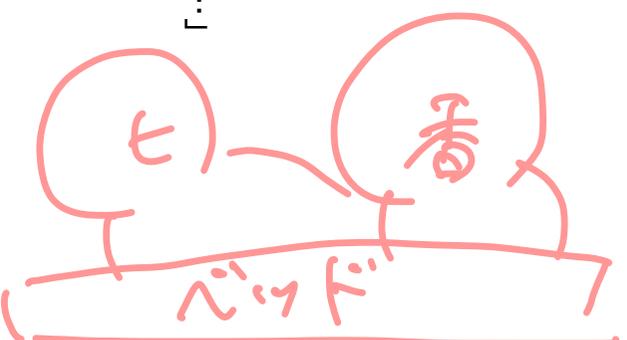
710 香坂くんの舌で私をいかせてください、でしょ？」

711
712 【ヒロイン いいなり】

713
714



715 【立ち位置1】
716 香坂「いい子ですねー。今日の先輩、ほんっと最高。
717 恥ずかしそうにおねだりする顔がたまらないっ。
718 いーっぱい舐めてあげますからね。ちゅっ……ちゅぱっ……」
719 【ヒロインの秘所舐め20秒程度お願いします】
720
721 【立ち位置1 ※秘所舐めながら】
722 香坂「いやらしい声いっぱい出てますよ。
723 イキそうなのにかせてもらえなくてもどかしそうな顔もいいですね。
724 俺にどうしてほしいんですか？
725 ちゃんと言わなきゃ。先輩が一番ほしいもの。
726 大きくて固くて熱いもの、ここに挿れてほしいんですよ。
727 【舐め音「こまど」】
728
729 【ヒロイン 「だって、昨日みたいに…」】
730
731 SE:ベットきしむ
732 【立ち位置1 ※身体起こし】
733 香坂「あはは。昨日みたいにお願い食らいたくないってか。
734 ごめんごめん。昨日は少しいじわるしちゃった。
735 俺、先輩の困ってる顔見るとつい興奮しちゃって。
736 でも、今日は意地悪はしないから。俺におねだりしてよ。ねっ？
737 【耳元で囁く】先輩のかわいいおねだり、聞きたいな」
738



739 【ロイン いいなり】

740

741 【立ち位置3】

742 香坂「よしよし、いい子。いい子の先輩に、欲しいものあげるね……♡」

743 SE: 挿入水音

744 SE: ベッドきしむ

745

746 【立ち位置1 ※正常位】

747 香坂「ああ、すごい……。【息だんだん荒く】

748 先輩の中あつ。うわっ、めちやくちや締まるっ。

749 きもちい……。ああ、腰止まん……。あ、い……。ああ……。

750 どうですか？ 欲しかったもの挿れてもらった気分は。

751 気持ちいい？ じゃ、言ってよ。

752 香坂くんに犯されて、気持ちよすぎてどうにかなっちゃいそうですって」

753

754 【ロイン従う】

755

756 香坂「素直な先輩、かゝわいい。ね、浅いとこカリで攻められるのと、

奥までガン突きされるのどっちが好き？」

ああ、ロイン？ ロインが気持ちいの？じゃ、いっぱい攻めてあげる。

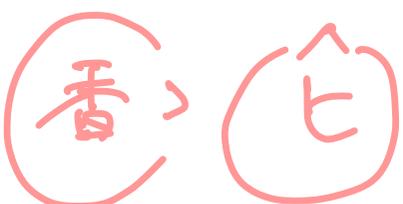
ほら、ほらっ……」

【荒い息つかいのみ三十秒ほどお願いします】

760

761

762



763 【立ち位置1 ※キスハメ】

764 香坂「はむっ。ちゅっ。先輩好きっ。

765 舌出して。ああ、ダメ。あ、そんなに締め付けられたらやばいっ。

766 あ……ああ……イキそう……」

767 SE：一旦抜く

768

769 【立ち位置1】

770 香坂【恥ずかしそうに】「ごめん、先輩。体勢変えますね。

771 このままだとすぐいっちゃんいそうだから。

772 ベッドに手突いてお尻こっちに向けてくれます？。そ。後ろから突かせて」

773 SE：衣擦れ

774 SE：体勢変えるベッドのきしみ

775 SE：挿入水音

776

777 【立ち位置5】

778 香坂「先輩エロ。うわあ、ズブズブって入ってく……。

779 気持ちいい。

780 「そのままずくずくと突いてられそう」

781 SE：ピストン

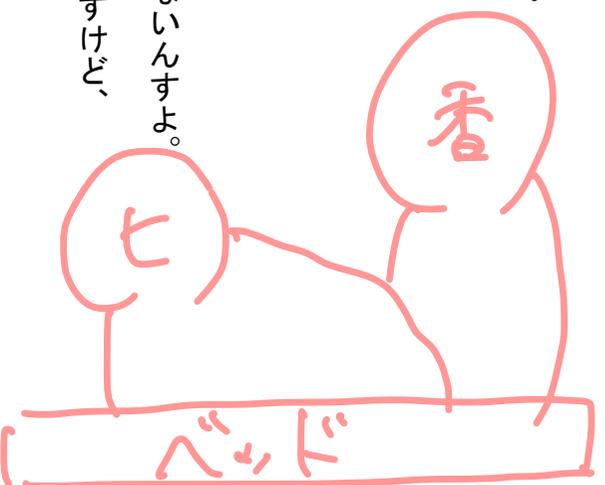
782

783 香坂【優しく】ねえ、俺、本当に普段は最後までやんないんすよ。

784 だから、久しぶりで……。信じてもらえないかもですけど、

785 先輩だからしたいなって思ったんですよ。

786 これは嘘とか営業とかじゃなくてマジだから……」



787 香坂「ああ……先輩の声、聞いてるだけでいきそう。やばい、気持ちよすぎる」
788 【息づかいのみ三十秒ほどお願いいたします】
789

790 SE:ピストン徐々に早く
791

792 香坂【徐々に限界に近づいてく】

793 ああ、もうダメ。

794 いく、ああ、いく……。出る……。出る……っ

795 もう、このまま中に出しちゃいますよ」

796 【息づかいのみ三十秒ほどお願いいたします】

797

798 SE:射精
799

【立ち位置5】

800 香坂【息整えながら】はあ……はあ……。いっばい出た……。

801 っと、ダメですよ逃げちゃ。この体勢のまま、

802 先輩のマンコから俺のザーメンが溢れてくるの見たいんです。

803 ほーら、もっと俺の方にお尻突き出して。そう」

804

805 【香坂 ヒロインの秘所を見つめて満足気に】

806 香坂【嬉しそうに】うわあ、いっばい出てきた。

807 入り口、ビクビクしててすっごいエロい。

808 あー、もったいないから舐めさせて。 はあむっ。【啜る】

809 先輩と俺のが混じってる愛液たまんない」

810



811 SE:大きめの衣擦れ

812

813 【立ち位置5→14 ※ベッドに寝転がり】

814 香坂「はあー。気持ちよかった。先輩、隣に来て。一緒に寝よ♡」

815 SE:ほんぽんと枕をたたく音

816

817 【立ち位置3 ※耳元で】

818 香坂「ね……そろそろ時間ですけど、どうします？

819 俺、この後の予約全部キャンセルしてきたんですよ。

820 え？ 動画？ 冷めること言わないでくださいよ。

821 そんなのどうでもいいじゃないですか」

822

823 【クロイン「ぶっでもよくない」】

824

825 香坂【【面倒そうに】】はいはい、わかりましたよ。消せばいいんですよ、消せば」

826 SE:衣擦れ

827 SE:スマホ操作音

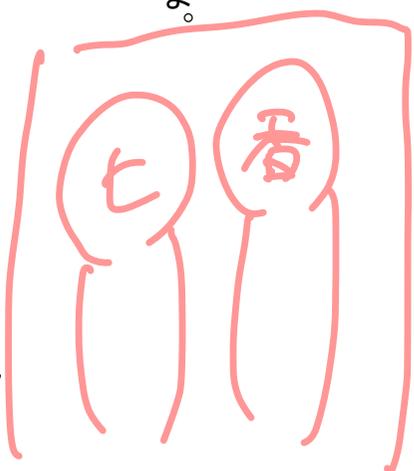
828

829 香坂「ほら、消しましたよ。

830 せっかく先輩の言うこと聞いてあげたんだから、

831 今日はお泊りコースに変更してくださいよね」

832



833 ◆トラック5 夜道で待ち伏せ
 834 仕事帰りに寄ったいつものコンビニで香坂と再会。「なんで店に来てくれないんですか」
 835 とちよつと怒り気味の香坂。「先輩ん家にいきたくないな」と言われるが拒否するヒロイ
 836 ン。隠し撮りされていた別の動画を見せられ、「これ会社のメールに一斉送信したらど
 837 うなるかな」と脅され、仕方なく香坂を部屋に上げる。

838
 839 時間 夕方
 840 場所 コンビニ

841
 842 SE: コンビニの入店音

843 SE: 足音

844 SE: 店内の音楽

845 SE: 客のガヤ音

846
 847 【13】

立ち位置

848 香坂「あれ？先輩。今、仕事帰りですか？」

849 ああ、俺は今日休みだったから、ジム行ってきた帰りで……」

850 SE: 二人の足音

851 SE: 商品手にとったり籠に入れたり

852

853 【立ち位置3】

854 香坂「あ、オムライスうまそう。

855 でも酒とコンビニ弁当って、体によくないですよ。

856 先輩、自炊とかしなさそうですね」

香

ヒ

棚

ヒ 香

棚

857 【立ち位置3】

858 香坂「よかったら、今度俺が作りに行きましようか。」

859 859 こう見えて、結構得意なんですよ。

860 オムライスぐらいだったらちやちやっと作れますから。

861 たぶん、コンビニより俺の作る方がうまいですよ」

862 SE：棚に商品戻す

863 SE：籠置く

864

865 【立ち位置3】

866 香坂「あれ？ 買うのやめちゃうんですか？ 待ってよ先輩」

867

868 【店の外に出る】

869

870 SE：二人の足音

871 SE：車の音

872

873 【立ち位置3 ※並んで歩く】

874 香坂「【拗ねて】ちよっと、どうしたんですかいきなり。」

875 てか、なんで予約入れてくれなかったんですか？」

876

877 【ヒロイン 忙しかったといいわけ】

878

879 香坂「絶対うそ。だって忙しかったら、

880 こんな時間に帰れるわけじゃないじゃないですか。まだ七時半ですよ」

道路

香
ヒ

881

【ヒロイン 「今日はたまたま早く終わっただけ」】

882

【立ち位置1 ※至近距離で顔を覗き込み】

883

香坂「ふーん。今日だけたまたまねえ……」

884

【立ち位置3】

885

香坂「まあいいや。ねえ、先輩。」

886

俺、今から先輩ん家に行きたいなあ」

887

【ヒロイン やんわり断る】

888

香坂「なんで？ もしかして先輩、俺のこと避けてます？

889

そんなわけですね。こないだ、あんなに楽しんだのに」

890

香坂「なのに先輩、全然予約入れてくれないんだもん。寂しかったなあ」

891

【ヒロイン立ち去ろうとする】

892

SE：ヒロインの靴音強調

893

【立ち位置4→3】

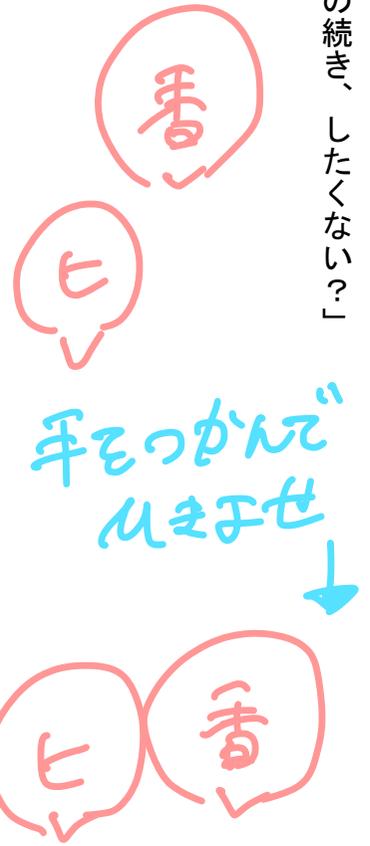
894

香坂「ちよっとお。【手首をつかんで引き寄せる】何帰ろうとしてるんですか。

895

【囁く】こないだの続き、したくない？」

896



905 【ヒロイン 首を横にふる】

906 【立ち位置3】

907 香坂「あれえ？ おっかしいな。」

908 俺が欲しくて欲しくてたまらない体にしたはずなんだけど。

909 【ため息混じりに】まだ調教が足りなかったか……。

910 じゃあこれ、見てください」

911 SE：スマホ操作音

912

913 【ヒロインにスマホを見せる】

914

915 【立ち位置1】

916 香坂「これは俺の趣味用に撮ったものなんですけどね。」

917 よく撮れてるでしょ。

918 これはバックから攻められてあんあんよがってる先輩。

919 んで、「こっちは股開いて俺のを欲しがってる先輩。エロくて最高でしょ？」

920

921 香坂「で。もし、俺がこの動画を会社のメールに一齐送信したら

922 どうなると思います？

923 まあ、謹慎で済めばいいけど、最悪クビになるかもしれませんねえ。

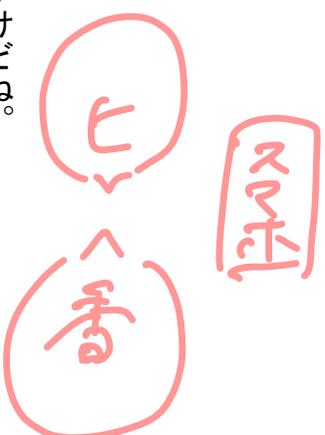
924 こんなこと本当はしたくなかったけど、しょうがないですね。

925 だって、俺の言うこと聞かない悪い子には罰が必要だから。

926 ね、先輩」

927

928 【ヒロイン 顔面蒼白】



929

香坂「あはは。そんな怯えた顔しなくても大丈夫ですよ。」

931 特別に、選ばせてあげます。

932 先輩の家に、俺と一緒に帰るか、

933 この動画を会社に一齐送信するか。どっちにします?」

934

935 【クロイン「一緒に帰ります」】

936

937 香坂「うん。そうだね。そっちが賢明だよね。」

938 じゃ、いこっか。先輩が二度と俺に逆らえないように、

939 しっかり調教してあげる」

940

941 SE：二人の足音

942

943 ◆トラック6 あなたのお家でわからセックス

944 『しっかり調教しないとね』といっても伊っても止めてくれない連続絶頂。

945 いやいや言つくせに全部受け入れてしまおうあなた。最後は、孕まセックスで仲直り。

946

947 時間 夕方

948 場所 マンションの一室

949

950 SE: 部屋の扉開閉音

951 SE: 鍵をかける音

952

953 【立ち位置6】

954 香坂「へ〜ここが先輩の部屋かあ。結構いいとこ住んでるんですね」

955 香坂「ねえ、どうしたんですか？ さっきから、黙っちゃって。

956 先輩、俺が『わざわざ』家まで来てあげてるんですよ。

957 もっと喜んでくれなきゃ。

958 それとも、わざと俺のことイラつかせようとしてます？

959 俺の気を引くために、素っ気ない態度取ったり、

960 予約入れてくれなかったり……」

961 香坂「そっか。先輩は俺にもっと構ってほしいんだ。

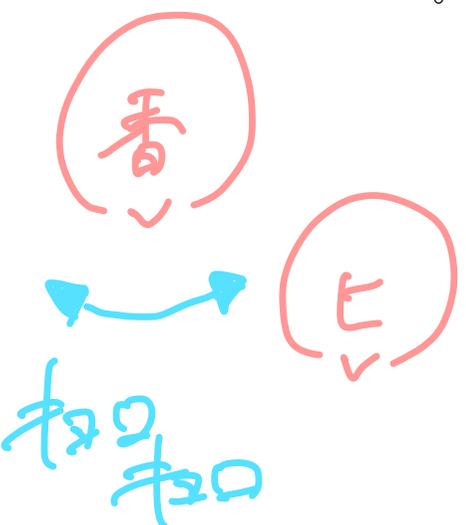
962 それならそうと言ってくれればいいのに。

963 ほら、こっち向いて。耳、舐めてあげる。

964 先輩大好きでしょ、俺に耳舐められるの」

965 【耳舐め二十秒くらいお願いします】

966



967 SE: 衣擦れ

968

969 【立ち位置3】

970 香坂【耳舐めながら】 ちゅっ……ちゅぱっ。

971

ほら、こんなにとろけた顔して、身体くねらせて。

972

触って欲しいんでしょ？ いいよ、いっぱい触ってあげる」

973 SE: 衣擦れ

974

975 香坂「先輩はね、自分では否定するけど、俺に犯されるのが大好きなの。

976

今もこうして強引に体触られて興奮してるでしょ。

977

こうやってスカート捲られて……

978

ストックキングに手突っ込まれても……ほらね、全然抵抗しない。

979

もっと激しくされたいんだよね？

980

否定しても無駄。

981

俺のほう先輩のこと、よくわかってるんだから【耳舐めここまで】」

982

983 【ヒロイン否定】

984

985 【立ち位置1】

986

香坂「違う？ じゃ、これは何？」

987

SE: 衣擦れ

988

SE: 水音

989

990

ヒ
香

ヒ 香

991 香坂「どうしてこんなにパンツが濡れてるのかな？」

992 俺に触られて、嬉しかったからじゃないの？

993 ほら、見て。少し触っただけでこんなに糸引いちゃって」

SE：水音

995

996 香坂「コンビニで俺に声をかけられたときから

997 したくてしたくてたまんなかったんでしょ？」

998

999 【ヒロイン 無言】

1000

1001 香坂「聞いているんだから答えてよ。

1002 そっか、先輩は意地っ張りのドMだから

1003 もっともっと興奮させないと言わないだったね。

1004 いいよ。今日はとことん付き合っただけだから。

1005 じゃ、おじゃまします」

1006 SE：靴脱ぐ音

1007 SE：廊下からリビングへ歩く音

1008

1009 香坂「ほら、突っ立ってないで早く来る」

1010

1011 【ヒロイン慌てて追いかける】

1012

1013

1014



1015 【立ち位置1】

1016 香坂「寝室どこですか？ こっち？ ああ、そっちか」

1017

1018 SE：部屋の扉開

1019

1020 【立ち位置5】

1021 香坂「へえ。けっこう綺麗にしてるんですね。

1022 なんか良い匂いするし、女の人の部屋って感じ」

1023 香坂「そんなに怖い顔しないで。せっかくだから楽しもう？」

1024 ほら、服全部脱いで、ベッドに横になって」

1025

1026 【ヒロイン いいなり】

1027 SE：足音

1028 SE：ベッドきしみ

1029

1030 香坂「そのまま、足開いて。ふふ、良い眺め。写真撮りたくなっちゃう」

1031

1032 【ヒロインぎょっとする】

1033

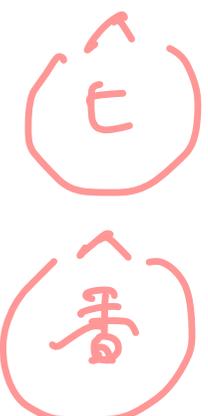
1034 香坂「冗談、冗談。それじゃ、触ってあげるね」

1035

1036 【香坂 ヒロインの秘所をゆっくり指で觸る】

1037 【立ち位置1】

1038 香坂「うわあ。先輩の中、どろっどろ。こんなに欲しがっちゃっていやらしい」



1039 SE: 指で秘所を触るくちゅ音

1040 香坂「中、吸い付いてきて美味しい、美味しいって俺の指しゃぶってる。

1041 でも、指なんかじゃ足りないよね？

1042 どうしてほしの？

1043 ほしいときは、ちゃんとおねだりしないかね。

1044 ほら、言ってる。ねえ……早く、言えよっ【最後まで強く】」

1045

1046 【ヒロイン 言う】

1047

1048 香坂「ん、いい子。じゃ、ご褒美、あげるね」

1049 SE: 指抜く

1050 SE: ファスナー下ろす

1051 SE: 衣擦れ

1052 SE: 挿入（水音）

1053

1054 【立ち位置1】

1055 香坂「あ、やばい。どんどん呑み込まれてく。先輩、すごいっ。あ、あ、……」

1056 SE: ベッド軋む音

1057 SE: ゆっくりピストン

1058

1059 【吐息のみ三十秒ほどお願いいたします】

1060 香坂「ははっ……ねえ、そんなに声出したら、隣の部屋まで聞こえちゃいますよ。

1061 俺は全然いいけど、先輩が後で困っちゃうでしょ？」

1062 SE: 水音ねちねち



1063 【立ち位置1】

1064 香坂【吐息混じりに】ふふ、声我慢してる先輩もエッロ。

1065 ああ……そんなに締め付けたら、ヤバいって。腰止まなくなる……！」

1066

1067 【呼吸徐々に荒く、三十秒ほどお願いいたします】

1068 SE: ベッド軌む音激しく

1069 SE: 水音加速

1070

1071 【立ち位置1】

1072 香坂【攻める感じでちょっと乱暴に】

1073 突くたびに締まって、すっごく気持ちいい。

1074 浅いところできちゅくちゅされるのと、

1075 奥の方突かれるのどっちが気持ちいい？ どっちも？

1076 じゃあ、腰大きく動かしてあげるね」

1077

1078 【荒い呼吸二十秒程度お願いいたします】

1079

1080 香坂「うん？ もうダメ？ 感じすぎて怖くなっちゃった？

1081 大丈夫。全部俺が受け止めてあげるから。

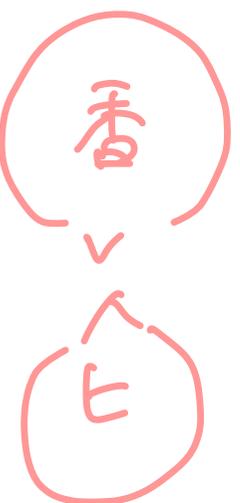
1082 ほら、怖くない。怖くないよ……。」

1083

1084 【荒い呼吸一分ほどお願いいたします】

1085

1086



1087 香坂「【喘ぎながら】気持ちいい？ イきそつ？ うん、いいよ。

1088 俺も一緒に……。あ、イク……。イク……。っ！」

1089 SE…射精音

1090

1091 【呼吸整えながら】

1092 香坂「はあ……。すごい気持ちよかった……。

1093 あれ、先輩意識飛んじゃってる？起きて〜。まだ終わりじゃないですよ。

1094 ほら、俺の上に乗って。ぎゅ〜ってしたまま気持ちよくしてあげる」

1095

1096 【抜かずに体勢変える】

1097 SE…水音

1098

1099 【1立ち位置 ※対面座位】

1100 香坂「抱きしめられるの、気持ちいいでしょ？先輩も、俺の背中に手、回して。

1101 そつそつ。【頬にキス】ちゅっ、ちゅっ……」

1102 SE…水音

1103

1104 香坂「あ、こら。いきなり腰動かしたらやばいって」

1105

1106 【ヒロイン 腰動かす】

1107

1108 香坂「【喘ぎながら】嬉しい。」

1109 先輩の方からしてくれるなんて。てか、腰の動きえっろ……。

1110 これじゃ、すぐいっちゃんそつ」



1111 【キスハメ ※三十秒お願いいたします】

1112

1113 香坂「【キスしながら】気持ちいい？俺もすっごい気持ちいいです。

1114 もっと気持ち良くなりましょう。じゃ、下から突き上げますから（ねっ）

1115 【ねっを強めにガン突き開始】ん、ん、ん、ん、…」

1116 SE：水音（強めに）二十秒ぐらい

1117

1118 【騎乗位】

1119 【キスハメ二十秒ほど ※お任せします】

1120

1121 香坂「【キスしながら】ふふ、イっちゃった？ でも、まだ止めてあげない。

1122 何度も何度もいかせてあげる【キスここまで】」

1123 【荒めの呼吸三十秒ほどください】

1124

1125 【立ち位置1】

1126 香坂「ダメ」じゃない。もっとがんばれるでしょ。先輩は出来る子♡

1127 ほらっ、ほらっ。がんばれ♡がんばれ♡中すっごい痙攣してる。

1128 まだまだいかせてあげますからね」

SE：水音加速

1130

1131 【最後の力を振り絞る感じで、

1132 射精に向かう激しめの呼吸を一分程度お願いします】

1133

1134



1135 【立ち位置1】

1136 香坂「【喘ぎながら】先輩、俺のこと好き？好きですよね。

1137 1137 こんなに気持ちよくなってるんだもん。

1138 1138 言えよ、好きって……香坂君大好きって言えよ！」

1139

1140 【ヒロイン、言う】

1141

1142 香坂「そっかあ。先輩は俺のこと大好きなんだ。

1143 1143 じゃあ、俺との赤ちゃんできてもいいよね？

1144 1144 赤ちゃんの種、全部飲み込んで……。

1145 1145 はあはあはあはあ……。う、ああ、イク……ッ」

1146

1147 【呼吸整える。秒数お任せします】

1148

1149 香坂「あ、すっごい濃いのかいっばい出しちゃった。まだ動いたらダメだよ。

1150 1150 せっかく出したのがこぼれちゃうから、このまま繋がってよ」

1151 【立ち位置1→3】

SE・衣擦れ

1152 1152 【唇に軽くキス】

1153

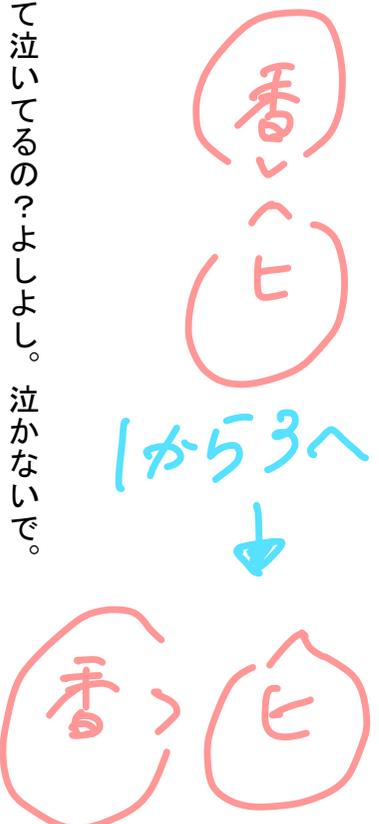
1154 1154 【立ち位置3】

1155 香坂「先輩。どうして泣いてるの？よしよし。泣かないで。

1156 1156 何も心配いらないますよ。ちゃんと責任とってあげるからね。

1157 1157 【頬や額にキス】ちゅっ……ちゅ……ちゅ……」

1158



1159 香坂「はあ……先輩かわいい。絶対幸せにしてあげる。」

1160 俺、好きな人ができたら、全力で愛そうって決めてたんだ。

1161 少しくらい強引でもいいから自分のものにしようって」

1162 香坂「うちの両親がそうだったんです。」

1163 父さんはいつも高圧的な態度で母さんを支配してたけど、

1164 母さんはそんな父さんが大好きでさ……。

1165 どんな理不尽なことにも耐えて尽くす母さんは、

1166 子供の目から見ても綺麗で。

1167 自分もいつか、そういう相手を見つけないって」

1168 【立ち位置1 ※ヒロインの顔を覗き込み】

1169 香坂「先輩。俺が会社やめるとき

1170 “一緒に働けなくなって残念だよ” って言ってくれましたよね。

1171 先輩だけです。そんな風に声かけてくれたの。嬉しかったなあ。

1172 そんなとき思ったんですよね。あ、この人が俺の運命の人だって」

1173 香坂「だから会社クビになって、先輩に会えなくなって、

1174 俺どうにかなりそうでしたよ。」

1175 どうすれば先輩を自分のものにできるか、必死で考えました。

1176 もしかして、俺との再会とか、全部偶然って思ってます？」

1177

1178 【ヒロイン頷く】

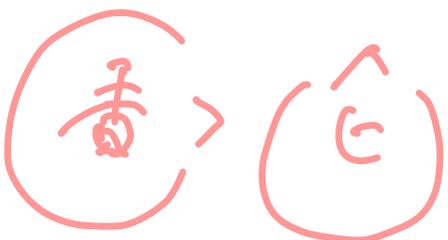
1179

1180

1181

1182

のぞきこみ



1183 香坂「あはは、やっぱり。そんなわけないでしょ？」

1184 先輩、うちの店のチラシ見て予約入れてくれたんですね。

1185 それ、どこで見たんですか？

1186 家の郵便受けに入ってたやつですよ。

1187 あれ、ポスティングしたの俺です」

1188

1189 香坂「定期的に入れて、

1190 先輩がいつか癒しを求めて予約してくれるんじゃないかって。

1191 三か月以上かかりましたけど。あはは。

1192 もしずっと気づいてくれなかったら、

1193 【マジなトーンで】そんなときは拉致ってたかもしれません」

1194

1195 香坂「でもまあ、先輩が予約してくれたおかげで、

1196 こうして無事に両思いになれたわけだし、これからはずっと一緒ですよ。

1197 だってもう先輩は、俺なしではいられないですもんね」

1198

1199 香坂「大好きですよ。俺の可愛い可愛い先輩♡【額にキス】」